

digital bone conduction spectacles
骨導式メガネ形デジタル補聴器

製品技術資料

プロダクトインフォメーション

F229Dデジタル骨導補聴器は骨導式のメガネ形デジタル補聴器です。軽度から高度の聴力レベルに対応します。

ソフトウェアで一人ひとりに合わせてプログラムでき、ニーズに合わせた柔軟性のある調整が可能です。

アクセサリ

スターキーは多様で新しく魅力的なメガネフロントを提供しています。今回新しくデザインされたエクステンションチップはフロントと補聴器をデザインの的に融合しました。また、以前のベナトーンチップも使用できます。

特徴

- 電池サイズ：PR44 (675)
- 2チャンネルデジタル信号処理 (4ピンのプログラム用ソケット付き)
- O-T-M スイッチ
- 以前のベナトーンモデルコンタクトスターにも取り付け可能
- カラー：ブラウン、ブラック
- 骨導パッドの取替えが簡単
- 電池切れお知らせ音
- スイッチ切替お知らせ音
- ノイズキャンセレーション

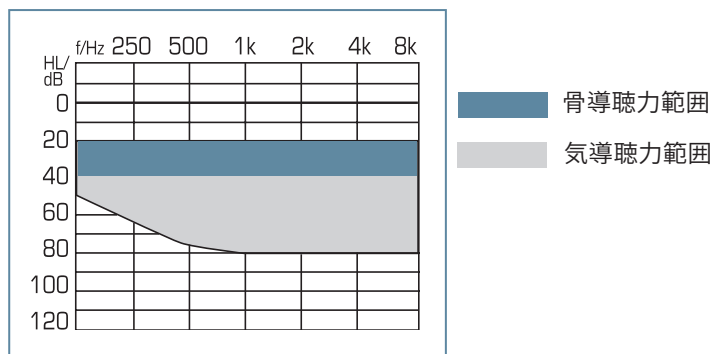
ハイプロによる調整機能

- ローカット
- ハイカット
- 最大出力制限 (MPO) 機能 (出力制御型圧縮; AGCo)
- ボリューム有効/無効選択機能
- チャンネルごとの圧縮比調整機能
- ノッチフィルター
- 境界周波数とチャンネルごとのゲイン調整機能

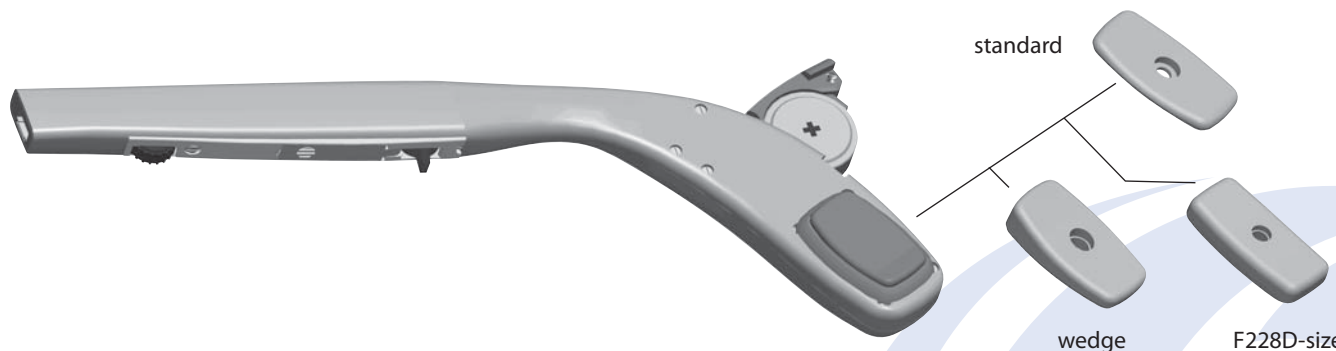
全高調波ひずみ (入力レベル=70 dB SPL、規準利得) :	
500Hz	<3%
800Hz	<0.6%
1000Hz	<1.0%
1600Hz	<0.3%
誘導コイル感度 :	95 ± 6 dB OFL (10 mA/m, 1kHz)
等価入力雑音レベル :	24 dB(A) SPL以下
電流値 :	1.32 mA以下 (1.4V)
電池寿命 :	~329 時間 (電池容量 620 mAh)

適応聴力範囲:

感音難聴には適しませんので
気導閾値・骨導閾値に注意してください。



骨導パッド



digital bone conduction spectacles
骨導式メガネ形デジタル補聴器

製品技術資料

DIN (ドイツ工業規格)、IEC 118-9:1987によるテクニカルデータ

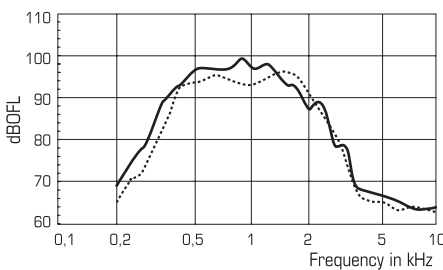
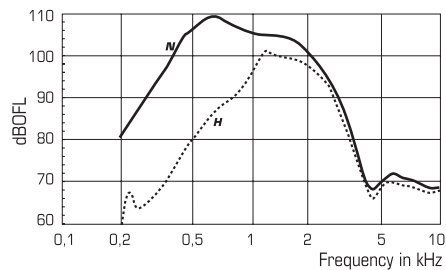
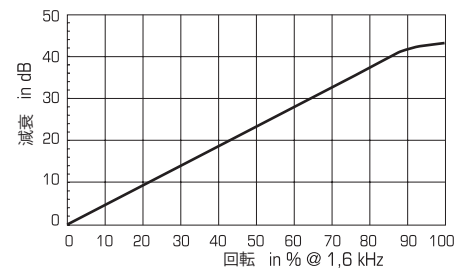
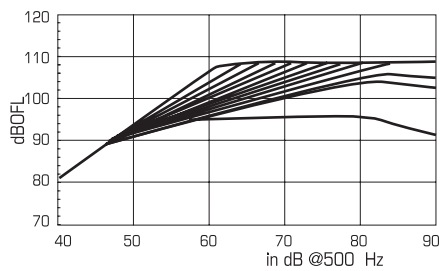
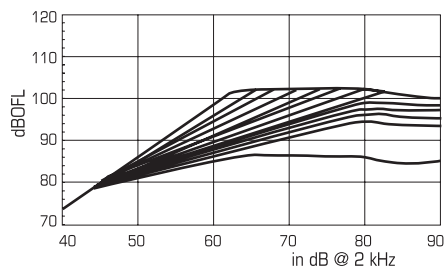
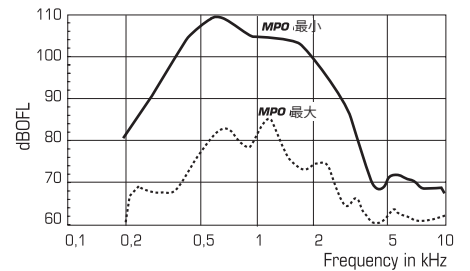
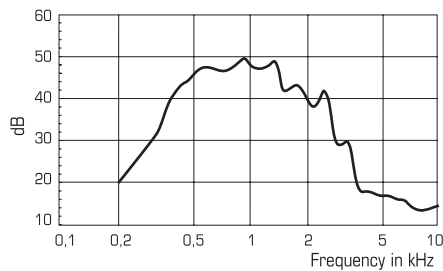
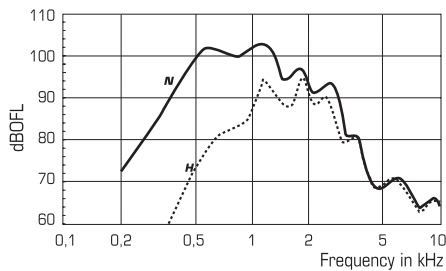
$U_b = 1.35V$, 許容値 ± 4 dB

HAIC (補聴器工業協議会) : DIN (ドイツ工業規格) 45 605: 1989による測定値

	最大音響機械感度レベル (FAMSL) (MPO 最小)		90 dB最大出力フォースレベル (OFL90) MPO 最小 MPO 最大	
	HAIC 1000 Hz ピーク	44 dB 47 dB 50 dB	106 dBOFL 107 dBOFL 114 dBOFL以下	82 dBOFL 82 dBOFL 86 dBOFL

周波数範囲 HAIC: 200 - 4000 Hz

MPO (最大出力制限) : ソフトウェアにより調整可能



4ピンのプログラム用ソケット



according to EC Directive 93/42/EEC

Quality certificate according to ISO 9001: 2000 / EN 13485: 2003

改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。 SPEC0032-01-JJ-JP JPYS-032

第2種医療機器製造販売業許可番号: 14B2X00027 許可番号: 14BZ00426

医療機器認証番号 F229Dデジタル骨導補聴器: 218ADBZX00031000



スターキー株式会社
横浜市都筑区仲町台5-2-20
Tel. 045-942-7226 Fax. 045-942-7158